

大平台高校生が地元企業を取材！今回はマストレさん！！



生徒に仕事内容を紹介するマストレの佐藤部長(右下)
＝浜松市南区

地元企業と交流 仕事の魅力学ぶ

浜松大平台高校生

浜松大平台高(浜松市西区)総合学科国際情報ビジネス系列の3年生5人はこのほど、地元企業との交流を通じて地域や仕事の魅力について学ぼうと、不動産会社「マストレ」(本社・西区)の海外事業部(南区)を訪れ、企業インタビューを実施した。生徒は9月に取材した結果を発表し、SNSでも情報発信する。マーケティング授業の一環

で、同部の佐藤亮部長が座談形式で仕事内容について話した。佐藤部長は照明器具には法令に沿った細かい技術基準があることや、同社の経営戦略「ニッチ戦略」などのマーケティング用語を紹介した。「仕事で大変なことは」との質問には、「日本と海外との文化の差で生じる、認識のずれが大変」と答えた。授業は浜松いわた信用金庫入野支店(西区)やLPガス販売のエネジン(中区)が同校のために企画した。今年で2年目の取り組み。

浜松大平台高校が地元企業を取材し、地域や仕事の魅力について学ぶ授業が今年もスタートしました！講師は当社の社員で行い、ブログや紙媒体、PR動画で取材内容を発信していきます。今回の取材先は『マストレ』さん。仕事内容の説明や高校生の疑問、質問に答えていただきました。高校生のやりたいことを見つけるきっかけになると同時に、地元企業の魅力を地元の人たちに知ってもらい、地域活性化に繋げることが出来る取り組みです。

今後、随時更新される高校生の取材記事を載せたブログをぜひご覧ください！

令和5年(2023年)5月25日(木)

静岡新聞

